

平成24年2月 和歌山県議会定例会会議録 抜粋  
第4号（中拓哉議員の一般質問への知事答弁）

本県が関西広域連合に参加いたしましたのは、県の区域を超えて取り組む必要のある課題に関西が一丸となって取り組む体制をつくるということで、本県の発展に不可欠な関西圏づくりに資すると思ったからであります。

そういう観点からいたしますと、大阪市というのは、地理的にも産業的にも関西の中心地でありますし、それは今、橋下さんたちがチャレンジをしてるわけですが、現状では政令指定都市として、大阪府の、普通の県が持っている権限を随分たくさん移している、そういう存在でありますので、その大阪市が関西広域連合に参加することは歓迎すべきだと思います。堺市も、神戸市も、京都市も同じでございます。

橋下市長には、大阪府知事と同様に、大阪市の利益という狭い視点ではなくて、関西全体の発展という観点で活動されることを期待しております。

なお、今議会に提案している大阪市及び堺市の参加に伴う関西広域連合規約の一部の変更につきましては、実は御承知のように滋賀県の県議会との関係がございましたので、全体の足並みをそろえるためにちょっと待ってみようかというふうに関西広域連合で考えておりました。

2月17日に、この問題について責任を持ってきている連合長から、原案で2月議会への上程に向けた諸準備を進めてくださいというような要請がありました。本県としては、開会日冒頭の議案については2月15日に議会運営委員会で御審議いただいていたということでございますので、これは再開日の3月の2日に追加提案にすることにさせていただいた次第でございます。